

## 川崎市が「共生社会ホストタウン」に登録されました！

本市では、東京2020大会を契機に、英国のホストタウンとして交流計画に基づく文化・スポーツ等における取組を推進するとともに、特にパラリンピックに重点を置き、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指し、「かわさきパラムーブメント」を推進しています。

このたび、共生社会の実現に向けた取組を推進する「共生社会ホストタウン」として「かわさきパラムーブメント」と英国チームの事前キャンプ受入れの取組が評価され、平成30年5月29日付けで本市が登録されました。

### 1 共生社会ホストタウンの概要

ホストタウン制度の枠組みのなかで、パラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取組を推進する国の制度であり、具体的には、「心のバリアフリー又はユニバーサルデザインの街づくりの取組の継続的・加速的な実施」と「東京大会の事後交流も含めた幅広い形での相手国・地域のパラリンピアンと市民との交流」を行っていくものです。

### 2 登録の目的

パラリンピックに向けた機運醸成を図るとともに、心のバリアフリーをはじめとする「かわさきパラムーブメント」の推進による共生社会の実現に向けて、より一層の弾みをつける契機とします。

### 3 登録による効果

本市の共生社会ホストタウンに関する取組が好事例として多方面に紹介され、川崎発のムーブメントが全国に広がっていくことが期待されます。

### 4 本市の取組

別紙参照

### 5 他の自治体の取組状況

第1次登録（平成29年12月公表）

三沢市（青森）、浜松市（静岡）、明石市（兵庫）、宇部市（山口）、  
高松市（香川）、世田谷区（東京）

第2次登録（平成30年5月公表）

遠野市（岩手）、神戸市（兵庫）、鳥取県・鳥取市(2自治体合同で登録)  
田川市（福岡）、飯塚市（福岡）、大分市（大分）

問い合わせ  
川崎市市民文化局  
オリンピック・パラリンピック推進室  
担当 藤原・井上  
電話 044-200-0528

# 川崎市の共生社会ホストタウン 活動計画

## かわさきパラムーブメントの推進と英国チームの事前キャンプ受入

持続可能なまちづくりに向けて、様々な価値を持つ東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、**特にパラリンピックに重点を置き、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指す運動を「かわさきパラムーブメント」と命名。**

検討段階から障害者団体等の意見を聞き、方向性を示した「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」を策定。

ビジョンでは、「多様性と社会的包摂」及び「川崎のブランド力」に大別した9つのレガシーが形成された状態を明らかにし、その実現に向け、障害のある方をはじめとする社会的マイノリティの方々も一緒になり、市民一人ひとりが主体となり川崎から社会変革を促進。

また、英国代表パラリンピアンとの交流等により、パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図るとともに、共生社会の実現に繋げる。

めざせ！やさしさ日本代表！

みんなの違いを活かせるチーム。  
障がい、年齢、人種やLGBT  
いろんな個性をチャンスにしよう。  
川崎らしく、力強く。  
未来を変えていく力は  
私たちの中にある。



かわさきパラムーブメント

本市の掲げるステートメント入りのロゴ

## ユニバーサルデザインの街づくり

- **UDタクシーの普及と利用環境整備**
  - ・UDタクシーの導入補助（平成29年度末で58台）
  - ・専用乗り場の整備  
→引続き、車両台数の増加と乗り場整備を推進
  - ・UDタクシーを活用した工場夜景ツアーの実施



UDタクシー

- **駅・道路などにおけるバリアフリー化の推進**
  - ・19地区におけるバリアフリー基本構想等に基づく視覚障害者誘導用ブロックの設置等
  - ・市内バリアフリーマップ（主要施設のバリアフリー情報含む）の刷新

### ◆ 川崎駅周辺の取組

- ・行政サービスと観光案内の機能を持つ「かわさき きたテラス」におけるデジタルガイドマップによるバリアフリー情報の発信
- ・駅周辺のエレベーターに優先使用表示の推進

### ● アクセシブルシティかわさき

- ・市内飲食店のバリアフリー調査と情報発信の試行
- ・店舗におけるバリアフリー対応表示の推進



飲食店調査の様子

## 心のバリアフリー

- **かわさきかつてにおもてなし大作戦(市民参加、市民活動の創発)**
  - ・パラムーブメントをより大きなうねりとしていくために、「ゲストからキャストへ」をキーワードに、障害の有無に関わらず多様な主体が「かわさきパラアンバサダー」として楽しく地域活動を行う、市民参加型のプロジェクトを推進
- **英国との交流事業**
  - ・ドレイク・ミュージック(英国音楽団体)と連携し、テクノロジーを活用することで、障害のあるなしに関わらず、音楽活動に関わる機会を生み出し、障害のある方が音楽に携われる取組の推進
  - ・高齢者のQOL向上を目指し、マンチェスター・カメラータ（英国音楽団体）のメンバーと連携した取組等の推進
- **短時間雇用プロジェクトと就労体験**
  - ・市内事業者が仕事を切り出すことによる障害者の短時間就労の促進（平成30年2月で延べ28名が就労）
  - ・障害者やひきこもりの方々に対し、様々な分野での就労を体験することで、労働・就労意欲を喚起し、正規就労を促進（平成29年度は、74の体験企画を実施し、739名が参加）
- **その他**
  - ・市職員のユニバーサルマナー検定取得や事業者向けセミナーの開催、平成32年度までに全小中学校で障害者スポーツ体験講座の実施など